

=北陸婦人問題研究所10周年記念行事=

羽田澄子氏と語る会

～安心して老いるために～

▶保険医協会が協賛

五月二十五日、午後一時半から四時まで石川県社会福祉会館で、羽田澄子氏と語る会が開かれました。テーマは「安心して老るために」で、北陸婦人問題研究所（梶井幸代氏代表）が満十周年記念行事として、保険医協会の協賛で開かれたものです。

羽田氏は「痴呆性老人の世界」について「安心して老いるために」の二本の老人問題に関わる映画で脚光を浴びておられ、氏の「老い」に対する考え方方は広く大衆の心をとらえ、この日の約二百七十人の参加者は熱心に聞き入っていました。

協会から出席した大野副会長が羽田氏のお話をまとめられましたので紹介します。

介護の秘訣は

説得より納得

十年前には痴呆性老人をどう扱つてよいか分からぬ状態でした。家族に痴呆性老人がいることを隠したり、病院ではベッドに縛り付けたり、食事が遅いのでチューブ栄養にしたりして

厚生省は三月、看護婦の社会的評価の向上、労働条件の改善、養成力の強化と就業の促進などを主な内容とした看護婦不足対策「保健医療・福祉マンパワー対策本部中間報告」を発表した。ゴールドプラン（高齢者保健福祉推進十カ年戦略）により、病院以外の福祉の分野でも看護婦の需要が急激に増えてきたことと、日本の社会全体で

確保の見直しのないまま許可されたこと、診療報酬点数上で高

度看護に厚く、一般看護に薄い

女性の職業が多様化し、社会

なくなつてきてることである。

今や、厳しい労働条件下で「白衣の天使」と呼んで個人的使命に訴える時代は過ぎた。

そこでこの度、映画「安心して老いるために」をつ

くったわけですが、モデル

になるであろう。それには、医

療機関の経営安定化、すなわち

新設なども考えられよう。

一九八〇年以来、医療費の伸びは国民所得の伸びより低く抑

さえられている。医療費の伸び

である。手術室や外来看護料の

豊かな日本での貧しい医療を打

破し、国民医療の確保と病院

の経営を守るために、早急な診療

報酬の改訂を要望する。

しかし日本人にも優れた

ところがあります。それは

他国に勝った所を取り入れ

て、それ以上のものを作り

だすことです。日本がその

気になつたら北欧が三十年

かけて作ったことを十年で

成し遂げられるでしょう。

そしてまた成し遂げなけれ

ばならない現状になつてい

るのです。そのためのスタ

ートラインに着いて欲しく

この映画を作った次第です。

日常生活が送ることを知りました。

家族だけで面倒はみきれない

テマ「安心して老るために」



270人が参加して開かれた羽田澄子氏と語る会 左から金沢大学法学部教授の井上英夫氏、羽田澄子氏、友の会中央委員慶松幾多子氏

看護婦問題の解決は

町の中を車椅子で回つてみたが…

老後の安心できる税金が高くても

福社国家の建設を

しかし日本にも優れたところがあります。それは

他国に勝った所を取り入れ

て、それ以上のものを作り

だすことです。日本がその

気になつたら北欧が三十年

かけて作ったことを十年で

成し遂げられるでしょう。

そしてまた成し遂げなけれ

ばならない現状になつてい

るのです。そのためのスタ

ートラインに着いて欲しく

この映画を作った次第です。

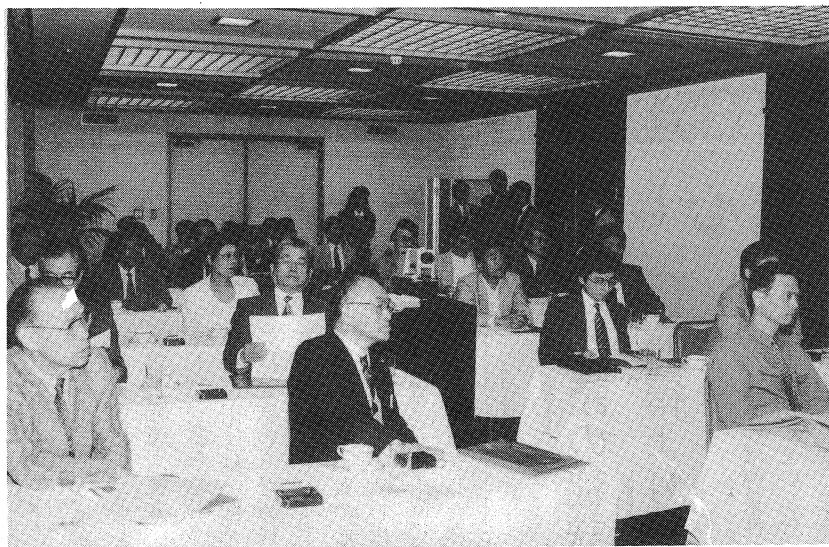
からず、手始めに皆で町の中を車椅子で回るイベントをやつた訳です。すると車椅子で行けない所がたくさん見つかり、大変だ大変だということになつたのです。お年寄りを買物にお連れしようというイベントも、その後が続かないのです。お年寄りを買物にお連れします。議会にカメラを入れる

赤じゅうたんに議席が並びます。カメラも自由に入

ります。議長は一段高い所に座ります。議長はカーペットを入

ります。議長はカーペットを入

ります。議長はカーペットを



MRIの効果的な利用法を学ぶ33人の参加者
5月18日 金沢都ホテル

再び基礎から……3回シリーズ(第2回目)

腹部エコー診断法

～胆嚢・胆道を中心に～

・講師 辰口芳珠記念病院放射線科医長
井田正博先生
・とき 6月28日(金) 午後7時～9時
・ところ 金沢勤労者プラザ 1階「大研修室」

協賛 株式会社日立メディコ
株式会社スズケン



講師の鈴木正行先生

～効果的な利用法と読影法～

協賛 東芝メディカル株式会社
丸文通商株式会社

MRI全般にわたつて 臨床例を中心

報告

原和人

(金沢市・外科)

五月十八日、講師に金沢大学放射線科の鈴木講師を招いて、「MRIとCTの利用法」のテーマで、学习会を開催しました。MRIは県内でも導入が進んでいますが、保険医協会の講習会のテーマとして、時期尚

早かもしないという心配に反して、予想を越える十三人の参加で、会場が狭すぎた迷惑をおかけするというほど盛況な講習会となりました。

北陸でのCTやMRIなどの画像診断の第一人者の一人である鈴木先生には、豊富な臨床経験に基づき、MRIの基礎から臨床についてお話を頂きました。最初のMRIの基礎についてお話を頂きました。最後半の臨床の話は、多くのMRIのスライドを見せて

戴き、その威力に驚くばかりでした。特に、脳脊髄疾患は、梗塞や腫瘍、変性疾患、奇形など出血を除くあらゆる疾患についてCTよりも優れているということでした。その他、胸部疾患、腹部疾患、骨盤内病変、四肢の疾患など、多方面に有用であるということでした。

が、ペースメイカーを装着している患者やVPSチャンプが入っている患者、動脈瘤クリップなどの大きな金属の入っている患者(人工骨頭など)、静止できない患者などは禁忌ということでした。

今回の講習会は、MRI全般にわたつてのお話で、今後、要求があれば各疾患毎に企画を検討したいと考えています。

その後の患者、動脈瘤クリップが入っている患者、体内に大きな金属の入っている患者(人工骨頭など)、静止できない患者などは禁忌ということでした。

今回の講習会は、MRI全般にわたつてのお話で、今後、要求があれば各疾患毎に企画を検討したいと考えています。



四六判上製 280頁
定価 1,800円

無量一人著
奥原希行編

発行
弘文堂

3分間治療でなぜ悪い!?

無量一人著
奥原希行編

発行
弘文堂

常識を覆す話題の書!!

世論の誤解に明快に反論

ぜひご一読をおすすめします

紹介者 高松弘明(金沢市・内科)

新刊案内

第一章 誤解されている医療の現場
●三分間治療でなぜ悪い!? ●薬価差益で『濡れ手にアワ』とは!? ●サラリーマンと開業医を比較する新聞報道の愚かさ

第二章 医療費にまつわる常識の嘘
●欧米諸国をはるかに下回る日本の国民医療費／社会的入院が医療費を押し上げている／本当に高齢化時代に医療財政はパンクするのか？／いま、日本がスウェーデン型高齢化社会だったとしたら／●医療費抑制策が、社会的弱者を切り捨てる／利益を社会に還元するアメリカ企業／●日本の二倍もの医療費を負担するアメリカ入院費用の比較／●(医療費が安く効率的な日本の医療システム

本書の内容を ご紹介します

第一章 誤解されている医療の現場
●三分間治療でなぜ悪い!? ●薬価差益で『濡れ手にアワ』とは!? ●サラリーマンと開業医を比較する新聞報道の愚かさ

第二章 医療費にまつわる常識の嘘
●欧米諸国をはるかに下回る日本の国民医療費／社会的入院が医療費を押し上げている／本当に高齢化時代に医療財政はパンクするのか？／いま、日本がスウェーデン型高齢化社会だったとしたら／●医療費抑制策が、社会的弱者を切り捨てる／利益を社会に還元するアメリカ企業／●日本の二倍もの医療費を負担するアメリカ入院費用の比較／●(医療費が安く効率的な日本の医療システム

第三章 現場を無視した厚生省の医療思想
●なぜ、老人病院に「たらい回し」現象が起きるのか？／「アルツハイマー病」離婚が浮き彫りにした在宅介護の困難／●人為的に生まれる寝たきり老人／●人間としての尊厳を守るスウェーデン型老人介護／●現場を混乱させるだけの「長期療養病床群」構想

第四章 疑問だらけの地域医療計画
●老齢人口比が高い地域ほど、医療費がかかる／●医療圏はどのように設定するのか？／患者数が極端に少ない千葉と多い高知／その地域に必要なベッド数を、どのように計算するのか？／●平均寿命と患者数の関係

第五章 なぜ、国民医療費を増やすなければならぬのか？
●医療費抑制策を止めて、増加の方針へ／●医療費が増えたときの国民のメリットは？／増額分の財源を産業界に求める／●例えば、「トヨタ自動車」は一三〇億円の増額分を負担する

本の題名から想像する
と、新聞ジャーナリズム
や世論の悪意ある医師攻撃に對する開き直りのよ
うに思えるが、内容は冷
静かつ科学的な反論と医
療分析である。三時間待
ち三分間治療、薬価差益
で漏れ手にアワ、開業医
の月収一般サラリーマン
の六・八倍など、日頃われわれが忍耐やるかたな
い思いでいる世間の誤解
に明快に反論してくれて
いる。

さらに、医療費にまつ
わる常識の嘘、現場を無
視した厚生省の医療思想、
この本をご希望の方は保険医協会
までお申し込み下さい。
○七六一一(二二)五三七三

の医療を考えるためにも
読みやすい本なのでぜひ
一読をお薦めしたい。

消のためにも、これから
の批判ではなく、将来へ
の展望を真摯な態度で前
向きに開こうとしている
のも本書の特長であろう。
フラストレーション解
決のために、これから
の医療を考えるためにも
読みやすい本なのでぜひ
一読をお薦めしたい。

本の題名から想像する
と、新聞ジャーナリズム
や世論の悪意ある医師攻
撃に對する開き直りのよ
うに思えるが、内容は冷
静かつ科学的な反論と医
療分析である。三時間待
ち三分間治療、薬価差益
で漏れ手にアワ、開業医
の月収一般サラリーマン
の六・八倍など、日頃われわれが忍耐やるかたな
い思いでいる世間の誤解
に明快に反論してくれて
いる。

さらに、医療費にまつ
わる常識の嘘、現場を無
視した厚生省の医療思想、
この本をご希望の方は保険医協会
までお申し込み下さい。
○七六一一(二二)五三七三

の医療を考えるためにも
読みやすい本なのでぜひ
一読をお薦めしたい。

消のためにも、これから
の批判ではなく、将来へ
の展望を真摯な態度で前
向きに開こうとしている
のも本書の特長であろう。
フラストレーション解
決のために、これから
の医療を考えるためにも
読みやすい本なのでぜひ
一読をお薦めしたい。

コ・メディカルと医師のための講習会

訪問看護の進め方

7月7日(日)

午前10時～午後4時半

金沢都ホテル
5階「兼六の間」

JR金沢駅正面 0761-26-1211(代)

定員 70人

対象 看護婦・保健婦・医師
福祉関係者など

参加費

お一人様 1,000円 (テキスト『訪問看護マニュアル』代金含む)

★在宅介護用品の展示コーナーも設けます。

参加申し込み お電話で保険医協会まで 0761-22-15373

演題・講師

- ①訪問看護を
進めるまでの問題点
- ②訪問看護の実際

大阪府保険医協会所属

松尾クリニック院長 松尾美由起氏
松尾クリニック 訪問看護婦 中野美恵子氏

本紙8月号にぜひ、ご投稿を!



原稿募集のご案内

募集作品
一 マ

二、自由
三、エッセイ
四、その他

応募締切
七月一〇日(水必着)

締切後に入稿の場合は九月号に掲載させて頂きます。
(白黒印刷)



第19回 家族・従業員レクリューション

甲府湯村温泉(泊)と 昇仙峡・富士急ハイランド

1日目……金沢西ICからエアロセミサロンカーで出発。昇仙峡、風林火山館などを見学し、甲府湯村温泉「ホテル湯伝」に宿泊。飲み放題、歌い放題の楽しい宴会のあとは、24時間入浴可能な天然風呂へ。

2日目……ホテルを8時半に出発、河口湖を見たあと富士急ハイランドへ。話題のムーンサルトスクランブル、ダブルループ、ジャイアントコースターの3大絶叫マシンのほか、60種類以上の乗り物が揃っています。(乗り物券付)

日程 1991年9月15日(日)・16日(月・振休)<1泊2日>

集合 金沢駅横 浅電前 午前6時40分集合

(解散は16日午後7時半の予定)

大人 42,000円・子供 31,000円

(中学生以上) (小学生)

※幼児の料金はご相談下さい

40人 (先着順)

甲府湯村温泉 ホテル湯伝 (宿泊は6名様一部屋の
相部屋となります)

参加申し込みは案内チラシの申し込み書をご利用下さい



栗野利雄先生の 記念碑めぐり (16)

西田幾多郎碑 (河北郡宇ノ氣町)



八人の子供のうち五人を亡くするという不幸を負いながら、生涯、デンケン（思索）に没頭し、最初の日本哲学を確立した人である。その核心たる『善の研究』を含めた『西田幾多郎全集』が、昭和二十二年五月十七日の金曜日に十三間町犀川沿いの「海遊亭」に集まりました。その数十七人。豪快に材料を大まかに調理したのが……と云々の一宣伝文句につられ

『善の研究』の著者

年に刊行された。この全集は九月十日前八時、千部に限り岩波書店から発売されたが、敗戦直後の日本人が心の傷を癒すための道しるべとして、われ先にと買いに集まつた。

博士四十二歳の大ヒットであった。四高教授として教壇に立ち、人生で最も充実した三十代の十年間にわたる総合成果であった。世界的大発見は、一般にこの年齢が限度とされている。

博士は、四高教授時代から禅道にも関わり深く、二十八歳から始めて、その道四十年に及ぶ。卯辰山にある洗心庵の雪門禅師や、京都大徳寺の広州和尚の禅門に入り哲学を学んだ。十五年、文化勲章に輝いた。哲学界や思想界に限らず、学問によって名を成した人たちは、多少ともこの名著の洗礼を受けているといわれる。

『善の研究』といえどもともと『善の研究』

の初版は明治四十四年で、博士四十二歳の大ヒットであった。四高教授として教壇に立ち、人生で最も充実した三十代の十年間にわたる総合成果であつた。世界的大発見は、

一般的にこの年齢が限度と

されている。

『善の研究』は、第一編

『純粹経験』(四章)、

第二編『実在』(十章)、

第三編『善』(十三章)、

第四編『宗教』(五章)

の四編の構成をとっています。

博士は、四高教授時代から禅道にも関わり深く、二十八歳から始めて、その道四十年に及ぶ。卯辰山にまで昇華させた学問上の功績に対して、昭和十五年、文化勲章に輝いた。

博士には「寸心居士」

の禅名がある。

も所詮は「花は紅、柳は

緑」という「即自然」で

ある。野山に満ちる自然

が移ろいを現わすその実

在と現象のありのままの

姿を探求するのが人間の

知恵であり、体験である

とし、その中に「善」が

潜んでいて、人間が美し

く生きていくそれを解明

したのが西田哲学なので

ある。

「人間は考える眞である」というフランスの学者、パスカルの寸言があるが、「寸心日記」の「寸

心」とは、人間一人ひと

り小さな心を持っている

が、その小さな心が大き

なことを考え、大きなも

のを作り上げていくとい

う意味である。

博士には「寸心居士」

の禅名がある。

たので川風が肌に心地よく、

粟野先生の乾杯に始まり自

己紹介があり、お喋りがあ

らその忙しいこと。

八寸のあとにおばあちゃん

が手製のキャラブキが美

人のおかみじきじきにサ

ビスされ、皆大満足。若い

おはこびさんはカスリの着

てカイガイしく動いている

のですが、立ったまんまの

配膳には、ちとびっくりさ

せられました。

いつもはあるというゲー

ムは今回は場所の都合でで

て時間が経つのも忘れるく

ださいでした。

〈当日のお献立〉

付出 茶巾豆腐(梅貝、

人参、椎茸、絹さや)

八寸 五種盛(ごのみ、

川海老、鳥肝、梅貝、

さつま芋)

造り(いか、万十貝、

甘海老、あしらい一式)

炊合(鰻、南爪、小芋、

絹さや)

揚物(車えび、きす、

茄子、新蓮根、しし

唐)

止竹の子ご飯

鰯赤だし

香の物

以上

た。

昭和二十年六月七日、

七十六歳で急逝するまで

思素の毎日であった。

博士は河北郡宇ノ氣町に生まれ、代々十村役の家柄であった。四十九年間、毎日かかさず綴つた「寸心日記」は同年六月一日を以って終わっている。

博士は、四高教授時代から禅道にも関わり深く、二十八歳から始めて、その道四十年に及ぶ。卯辰山にまで昇華させた学問上の功績に対して、昭和十五年、文化勲章に輝いた。

博士には「寸心居士」

の禅名がある。

た。

第十六次募集を、五月二十九日をもって締め切りました。

今年は一〇九口のお申し込みがあり、新たに二人の先生が協会に入会されました。お申し込み・ご入会いたいた先生に厚くお礼を申し上げます。

なお、今後の日程は次の通りです。

①七月末日に、再告知とあわせて加入確認のハガキを

加入者にお送りします。なお、加入審査について連絡のない先生は加入可と判断して下さって結構です。

②今回の加入者の制度の発足は八月一日です。外傷によ

る休業はこの日から給付されますが、疾病の場合

は三ヶ月経過した十一月一日以後の原因による休業

から給付されます。

③第一回掛金(八月分)の引き落としは、七月二十六日(金)です。

④加入者証の発送は九月中旬を予定しています。

休業保障のお申し込み

ありがとうございました

休業保障のお申し込み